

単元（章）の目標と評価規準（5・6年）

単元（章）名	1 単元（章） 心の健康	教科書のページ	p.4～19
配当時数	3 時間	学習指導要領の内容	第5学年および第6学年 G 保健（1）

単元（章）の目標		心の健康に関する課題を見つけ、よりよい解決に向けて考える活動を通して、心は、さまざまな生活経験を通して年齢に伴って発達すること、また、心と体は深く影響し合っていること、不安や悩みは誰もが経験すること、それらへの対処にはいろいろな方法があることを理解し、不安や悩みを緩和するための簡単な対処ができるようにする。		
単元（章）の観点別評価規準		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		心は、さまざまな生活経験を通して年齢に伴って発達すること、また、心と体は深く影響し合っていること、不安や悩みは誰もが経験すること、それらへの対処にはいろいろな方法があることを理解し、不安や悩みを緩和するための簡単な対処を行っている。	心の健康に関わることから課題を見つけ、心をよりよく発達させたり不安や悩みに対処したりする視点から、解決の方法を考え、適切なものを選び、それらを表現している。	学習活動に粘り強く取り組む中で、心の健康の大切さに気づき、心をよりよく発達させたり不安や悩みに対処する方法を考えたりする学習活動に進んで取り組もうとしている。
各時の学習活動に対応した観点別評価規準	第1時	心は、いろいろな生活経験を通して、年齢に伴って発達することを、言ったり書いたりしている。	心の発達について課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを説明したり伝え合ったりしている。	[全時共通] ①学習内容に関心を持ち、よりよく学ぼうとする意欲をもって、学習に粘り強く取り組もうとしている。 ②他者の考えも受け入れながら進め方を工夫改善するなど、自らの学習を調整しようとしている。
	第2時	心と体には、密接な関係があることを、言ったり書いたりしている	心と体の密接な関係について課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを説明したり伝え合ったりしている。	
	第3時	不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があることを、言ったり書いたりするとともに、不安や悩みへの簡単な対処ができる。	不安や悩みへの対処について課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを説明したり伝え合ったり、実践したりしている。	

知識および技能の習得状況について評価するとともに、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念（原理や原則）等を理解しているかについて評価する。

評価は、**ワークシート・ノートなどの記録**や**小テスト、まとめの単元（章）テスト**などを基にして、単元（章）を総合して行う（必ずしも毎時間に評価する必要はない）。

知識および技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかを評価する。

評価は、ステップ2「調べる・解決する」およびステップ3「深める・伝える」の場面を中心に、**発言の内容**や**ワークシート・ノートなどの記録**の内容、**レポート**などを基に各時の資料を蓄積し、単元（章）を総合して行う。

①学習内容に関心をもち、知識および技能の獲得や思考力・判断力・表現力等を身につけるため、よりよく学ぼうとする意欲をもって、学習に粘り強く取り組もうとする側面と、②他者の考えも受け入れながら進め方を工夫改善するなど、自らの学習を調整しようとする側面から判断して、単元（章）を通して総合的に評価する。

評価は、①、②それぞれの側面から、または一体的に、**各時の学習活動への取り組みや態度で特記すべきことなどを記録**し、資料を蓄積して、単元（章）を総合して行う（必ずしも毎時間に評価する必要はない）。

単元（章）名	2 単元（章） けがの防止	教科書のページ	p.20～43
配当時間	5 時間	学習指導要領の内容	第5学年および第6学年 G 保健（2）

単元（章）の目標		けがの防止に関する課題を見つけ、よりよい解決に向けて考える活動を通して、交通事故，身の回りの生活の危険や地震などが原因となって起こるけがの発生要因や防止の方法，けがの悪化を防ぐための簡単な手当の方法などを理解できるようにする。また，けがなどの簡単な手当を行うことができるようにする。		
単元（章）の観点別評価規準		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		交通事故，身の回りの生活の危険や地震などが原因で起こるけがの防止には，周囲の危険に気づくこと，的確な判断のもとに安全に行動すること，環境を安全に整えること，けがなどの簡単な手当はすみやかに行う必要があることを理解し，けがなどの簡単な手当を行っている。	けがの防止に関わる事象から課題を見つけ，危険の予測や回避をしたり，けがを手当したりする方法を考え，それらを表現している。	学習活動に粘り強く取り組む中で，安全の大切さに気づき，けがの防止や手当についての学習活動に進んで取り組もうとしている。
各時の学習活動に対応した観点別評価規準	第1時	事故やけがの原因には，人の行動や周りの環境が関わっていることを，言ったり書いたりしている。	身近な生活での事故やけがの原因について，課題を見つけ，その解決に向けて考え，それを説明したり伝え合ったりしている。	[全時共通] ①学習内容に関心をもち，よりよく学ぼうとする意欲をもって，学習に粘り強く取り組もうとしている。 ②他者の考えも受け入れながら進め方を工夫改善するなど，自らの学習を調整しようとしている。
	第2時	学校や地域でのけがを防止するには，身の回りに潜む危険の予測と的確な判断のもとに，危険を回避し安全に行動することや，環境を安全に整えておくことが必要であることを，言ったり書いたりしている。	学校や地域でのけがの防止について，課題を見つけ，その解決に向けて考え，それを説明したり伝え合ったりしている。	
	第3時	交通事故を防止するには，身の回りに潜む危険の予測と的確な判断のもとに，危険を回避し安全に行動することや，環境整備，交通ルール作りが必要であることを，言ったり書いたりしている。	交通事故の防止について，課題を見つけ，その解決に向けて考え，それを説明したり伝え合ったりしている。	

	第4時	犯罪被害の防止には、周りの環境を点検し犯罪が起こりやすい危険な場所を避けること、すぐに助けを求めるなどの確な判断のもとに安全に行動することが必要であることを、言ったり書いたりしている。	犯罪被害の防止について、課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを説明したり伝え合ったりしている。	
	発展	地震などの自然災害によるけがの防止には、周囲の状況を的確に判断し、落ち着いて、すばやく身を守る、避難するなどの行動をとること、日頃から災害に備えておくことが必要であることを、言ったり書いたりしている。	地震などの自然災害によるけがの防止について、課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを説明したり伝え合ったりしている。	
	第5時	けがなどの簡単な手当は、けがの重篤化を防ぎ回復を早めるため、すみやかに行うことが必要であることを、言ったり書いたりするとともに、簡単な手当ができる。	けがなどの簡単な手当について、課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを説明したり伝え合ったり、実践したりしている。	
観点別評価の基本的な考え方と方法		<p>知識および技能の習得状況について評価するとともに、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念（原理や原則）等を理解しているかについて評価する。</p> <p>評価は、ワークシート・ノートなどの記録や小テスト、まとめの単元（章）テストなどを基にして、単元（章）を総合して行う（必ずしも毎時間に評価する必要はない）。</p>	<p>知識および技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかを評価する。</p> <p>評価は、ステップ2「調べる・解決する」およびステップ3「深める・伝える」の場面を中心に、発言の内容やワークシート・ノートなどの記録の内容、レポートなどを基に各時の資料を蓄積し、単元（章）を総合して行う。</p>	<p>①学習内容に関心をもち、知識および技能の獲得や思考力・判断力・表現力等を身につけるため、よりよく学ぼうとする意欲をもって、学習に粘り強く取り組もうとする側面と、②他者の考えも受け入れながら進め方を工夫改善するなど、自らの学習を調整しようとする側面から判断して、単元（章）を通して総合的に評価する。</p> <p>評価は、①、②それぞれの側面から、または一体的に、各時の学習活動への取り組みや態度で特記すべきことなどを記録し、資料を蓄積して、単元（章）を総合して行う（必ずしも毎時間に評価する必要はない）。</p>

単元（章）名	3 単元（章） 病気の予防	教科書のページ	p.44～76
配当時数	8 時間	学習指導要領の内容	第5学年および第6学年 G 保健（3）

単元（章）の目標		<p>病気の予防に関する課題を見つけ、よりよい解決に向けて考える活動を通して、病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐこと、病原体に対する体の抵抗力を高めることおよび望ましい生活習慣を身につけることが必要であること、また、喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は健康を損なう原因となること、更に、地域において保健に関わるさまざまな活動が行われていることなどを理解できるようにする。</p>		
単元（章）の観点別評価規準		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		<p>病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐこと、病原体に対する体の抵抗力を高めることおよび望ましい生活習慣を身につけることが必要であること、また、喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は健康を損なう原因となること、更に、地域において保健に関わるさまざまな活動が行われていることなどを理解している。</p>	<p>病気の予防や回復に関わることから課題を見つけ、病気を予防する視点から解決の方法を考え、適切な方法を選び、それらを表現している。</p>	<p>学習活動に粘り強く取り組む中で、健康の大切さに気づき、病気の発生要因や予防についての学習活動に進んで取り組もうとしている。</p>
各時の学習活動に対応した観点別評価規準	第1時	<p>病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境が関わり合って起こることを、言ったり書いたりしている。</p>	<p>病気の起こり方について、課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを説明したり伝え合ったりしている。</p>	<p>[全時共通]</p> <p>①学習内容に関心をもち、よりよく学ぼうとする意欲をもって、学習に粘り強く取り組もうとしている。</p> <p>②他者の考えも受け入れながら進め方を工夫改善するなど、自らの学習を調整しようとしている。</p>
	第2時	<p>感染症の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めること、感染症にかかったら早めに治療を受け、安静にすることで回復を早めることが必要であることを、言ったり書いたりしている。</p>	<p>感染症の予防について、課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを説明したり伝え合ったりしている。</p>	
	第3時	<p>心臓病や脳卒中などの生活習慣病の予防には、適切な運動を行い、栄養の偏りのない食事をとることなど、望ましい生活習慣を身につける必要があることを、言ったり書いたりしている。</p>	<p>心臓病や脳卒中などの生活習慣病の予防について、課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを説明したり伝え合ったりしている。</p>	

	第4時	むし歯や歯周病などの生活習慣病の予防には、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身につける必要があることを、言ったり書いたりしている。	むし歯、歯周病などの生活習慣病の予防について、課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを説明したり伝え合ったりしている。	
	第5時	喫煙は、健康を損なう原因となることを、言ったり書いたりしている。	喫煙の害と健康について、課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを説明したり伝え合ったりしている。	
	第6時	飲酒は、健康を損なう原因となることを、言ったり書いたりしている。	飲酒の害と健康について、課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを説明したり伝え合ったりしている。	
	第7時	薬物乱用は、健康を損なう原因となることを、言ったり書いたりしている。	薬物乱用の害と健康について、課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを説明したり伝え合ったりしている。	
	第8時	地域では、保健に関わるさまざまな活動が行われていることを、言ったり書いたりしている。	地域の保健活動について、課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを説明したり伝え合ったりしている。	
観点別評価の基本的な考え方と方法		<p>知識および技能の習得状況について評価するとともに、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念（原理や原則）等を理解しているかについて評価する。</p> <p>評価は、ワークシート・ノートなどの記録や小テスト、まとめの単元（章）テストなどを基にして、単元（章）を総合して行う（必ずしも毎時間に評価する必要はない）。</p>	<p>知識および技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかを評価する。</p> <p>評価は、ステップ2「調べる・解決する」およびステップ3「深める・伝える」の場面を中心に、発言の内容やワークシート・ノートなどの記録の内容、レポートなどを基に各時の資料を蓄積し、単元（章）を総合して行う。</p>	<p>①学習内容に関心をもち、知識および技能の獲得や思考力・判断力・表現力等を身につけるため、よりよく学ぼうとする意欲をもって、学習に粘り強く取り組もうとする側面と、②他者の考えも受け入れながら進め方を工夫改善するなど、自らの学習を調整しようとする側面から判断して、単元（章）を通して総合的に評価する。</p> <p>評価は、①、②それぞれの側面から、または一体的に、各時の学習活動への取り組みや態度で特記すべきことなどを記録し、資料を蓄積して、単元（章）を総合して行う（必ずしも毎時間に評価する必要はない）。</p>

